整理No.	60

平成26年度 施策評価シート（評価対象：H25年度）

【１．施策名】

施策コード	411-03	基本施策	魅力ある教育の推進	所管部局	教育委員会
施　策　名	高等学校・大学等の教育の充実			主担当課	教育委員会事務局総務課
				関係部局課	企画課･市立長野高等高校
施策の目標	市立高等学校としての特長や特色ある教育を実践するとともに、大学等高等教育機関との連携により、より高度で専門性を持った人材の育成を目指します。				

【２．施策に取り組む理由】

施策目標に対する市民ニーズの傾向及び、施策目標の達成に向けた市の役割など
・生徒の多様な要望に対応するため、学習環境を整えるとともに、単位制・総合学科や、県内唯一の市立高校であることの特色を生かしながら、生徒の進路実現を目指している。また、社会人講師や、地域の大学等との連携協定による大学教員による授業等により、広い視野を持ち、地域の発展に貢献し、将来の長野市を担う人材の育成を図る。 ・大学等高等教育機関の教育環境の充実への支援及び高等教育機関と市が連携協力し、相互の資源及び研究成果等を生かした事業を実施することにより、地域の発展と人材の育成に寄与することを目指している。 ・市民が多様な教育機会を享受できるように、私立学校の教育環境の充実のため、校舎等の教育施設の建築等に対する補助金を交付する。

【３．施策指標】

施策指標（成果を示すもの）	単位	基準値(H22)	実績 H24	実績 H25	実績 H26	実績 H27	実績 H28	目標値(H28)
卒業時において、自分の進路に満足している市立高等学校生徒の割合	%	85	93	96				85
指標の定義	目標値のねらい（設定根拠・算定方法）							
総合学科・授業アンケートにおいて、「自分の進路に満足している」「どちらかといえば満足している」と回答した生徒の割合	アンケート結果を踏まえて、希望する進路に対する機会や情報提供など、今後の進路指導の計画や内容に生かす。							

施策指標（成果を示すもの）	単位	基準値(H22)	実績 H24	実績 H25	実績 H26	実績 H27	実績 H28	目標値(H28)
指標の定義	目標値のねらい（設定根拠・算定方法）							

25年度の取組内容実績	・社会人講師や体験学習などによる多様な学びを通して、学習意欲を高め、進路希望の実現と個性・能力の伸張を図り、また、学校間の連携協定を締結した信州大学教育学部、清泉女学院大学・短期大学等の協力により、大学の教員による授業や生徒への進路ガイダンス等を行った。また、市立長野高等学校の特色を示すものとして、部活動について充実を図った。 ・信州大学が「文部科学省　地（知）の拠点整備事業」に採択され、「信州学アカデミア事業」において、本市は「食と文化の信州学」を学ぶ拠点地域として協力して事業を実施することとなった。 ・長野県への働き掛けにより、新県立大学の市内への設置が決定した。 ・申請のあった学校法人に対して、補助金交付を行い、私立学校の環境整備ができた。

【４．総合評価】

総合評価　（目標値に向けて）	順調
	評価の理由・説明等
適応性 市民ニーズや社会経済状況の変化に柔軟に対応しているか	・市立長野高等学校における多様な学びや大学等が持つ知識等の導入は、社会を知り、自己実現を図るために有意義であり、生徒の学習意欲を高め、希望する進路の実現と個性・能力の伸張に資することができた。 ・大学等高等教育機関と連携し、地域食品加工業における製品開発や幼児への防災教育等、多岐にわたる分野で社会状況の変化に対応した事業を展開できている。 ・私立学校の教育環境向上は、通学する本市の児童・生徒の教育環境の向上につながっている。
達成度 施策の目標達成に向けて順調に進んでいるか	・第４期生の卒業時のアンケートでも、「総合学科の特色を生かした個性的で魅力ある学校づくりを行っているか」等の項目について、多くの生徒・保護者から肯定的な回答を得られている。また部活動の充実により、生徒の身体の鍛錬や責任感、連帯感のかん養等に資することができた。 ・包括連携協定を結んでいる４高等教育機関と連携して事業を実施した。 ・申請のあった学校法人に対して、補助金交付を行った。
事業の成果等 施策を構成する事務事業は目標を達成しているか	・１年次の「産業社会と人間」、２年次の「課題探究プログラム」等の取組を通し、生徒が個々の進路を考えることができた。また、スピードスケート部やバスケットボール部等、多くの部が大会で一定の成績を収めたこと等により、部活動の充実が市立長野高等学校の特色として一般に認知されつつある。

【５．今後の展開】

	課　　題	課題解決に向けた具体的な取組
1	・本校生徒の更なる学習意欲の向上を促す必要があるとともに、進学希望実現に向け、授業科目・内容等のプログラムを研究する必要がある。	・基本的な学習習慣を身に付けるため、家庭学習の時間を一定以上確保する指導を行い基礎学力の定着を図るとともに、進学希望実現のための応用力を高めるプログラムを研究する。
2	・大学等高等教育機関との連携において、大学等が所有する資源や研究成果等を行政経営に生かしきれていない。	・市内に立地している高等教育機関との連携を深めるとともに、信州大学が進める「地（知）の拠点整備事業」において、地域課題の解決や地域活性化につながる対応策を検討する。
施策展開の方向性（H26年度以降）	・平成26年１月15日に「長野市立長野高等学校あり方検討委員会」から提言を受けた中高一貫教育の導入について、基本計画（案）や中学校の教育計画（案）を検討した上で、中高一貫教育のメリットを生かすための授業プログラムの研究及び単位取得方法等の見直しを行う。 ・包括連携協定を結んでいる大学等高等教育機関と連携し、地域課題の解決や地域活性化につながる人材の育成を目指す。新県立大学開学に向けて、支援する。（仮）長野保健医療大学の開学に向けて、平成26年度大学の運動場用地として土地の貸付を行った。今後は、平成27年度開学できるよう、支援していく。 ・補助対象事業や経費の内容等について、社会情勢を踏まえて検証し、補助の有効性を再検討する。	

【６．施策を構成する主な事務事業】

番号	事務事業名 ［事業区分］ 担当課名	事務事業の概要	事業の取組実績・成果
1	市立高等学校特色ある教育推進 ［サービス提供事業］ 市立長野高等学校	・生徒の目的意識を高め、進路希望の実現と個性の伸張を図る。 ・外国人教師による生きた英語を学ぶことにより実践的なコミュニケーション能力を育成する。 ・姉妹都市、英国へ生徒を派遣し国際感覚を醸成する。	・外国人講師により330コマの英語授業、ハングル語講師により69コマの韓国語授業及び社会人講師23名による授業43コマ、主に医療系法人での授業46コマをそれぞれ実施した。 ・５名の生徒と１名の教諭を英国サウスウォルズ校に派遣した。
2			
3			
4			

番号	事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
	達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
1	A	A	A	A	A	継続	7,196	7,726	7,858	9,817
2										
3										
4										

5		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
6		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
7		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
8		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
9		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
10		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26